

銀漢亭日録



伊藤伊那男

5月29日(火)▼店、月末の週は超閑散。事業部、大野田、谷口、松代さん京都吟行の時間割ほか打ち合わせ。

30日(水)▼店、どうしようもない閑散。客一人で二十時過ぎる。雨でもあり、見切りをつけて閉める。帰路の経堂で下車し、小酌。鈴木忍さんから、店の前に来たけれど……と電話があり、ごめんなさい！

31日(木)▼彗星集選評書いて七月号の原稿終了。店、やはり閑散。常連がカウンター。あと店を閉めて山田真砂年さん等と飲む。

6月1日(金)▼五月の月次収支表作成。松川洋酔さん七十五歳の誕生日。超結社で十五人ほどが集まり祝う。料理の持ち寄りもあり有り難し。

2日(土)▼終日家。うたた寝、テレビなど休養。合間にエッセイの構想。亮ちゃん子役の舞台あり、残りの孫三人の夕食用意など。

3日(日)▼中野サンブラザにて「春耕同人句会」。帰りのエレベーターで青柳志解樹先生にお目に見え、握手。「炙谷」にて親睦会。杉阪さん大腸検査の結果OK！ אותוう一軒。

4日(月)▼店、三輪初子さん関根誠子さんと。池田のりをさん。阪西敦子さん六月一日から東洋経済新報社に転職と。「かさ、ぎ俳句勉強会」あと十一人。

5日(火)▼店、閑散。事業部、京都吟行の案内を発送。あと店で歓談。

6日(水)▼「ささらぎ句会」のあと、五人店へ。「宙句会」あと十四人。梅雨入り。

7日(木)▼句集ゲラ到来。校正。発行所も北辰社グループが校正作業して下さっている。店「十六夜句会」あと十三人。

8日(金)▼七月号の銀漢誌校正。店、株原洋征さん、福永新祇、田家さんなど五人の句会。あと「大倉句会」あとの十九人。永山憂仔さんからの飛魚のかまぼこ沢山。伊東岬さんのいんげんなど。

日は大三島へ向かう。バスにて大島の村上水軍博物館前の港へ。

観潮船に乗り、砦跡の能島を巡る。昼、大三島の大山祇神社。ここで武田禪次・花果夫妻と会い、慶太氏を誘い武田車で花果さん生家へ。十七、八年前に盤木先生とお訪ねして以来。禪次さんが育てているオリブ畑を訪ねる。生家(池田家)で一休み、歓談中、気持ちのいい風にうたた寝をしよう。十六時前、大島の宿「千年松」へ送っていただく。宿は来島海峡を隔てて今治の町や石鎚山を一望する絶景の地。句会あと宴会。鮎、鯛、蛸などの刺身。黒めばるの煮付、鮑焼、鯛塩焼、鯛めし、と見事！ あと部屋にて、武田さん差し入れの酒などで二次会。私は二十二時半過、部屋の隅で寝てしまいが、どうやら一時半頃まで酒宴は続いた様子。

17日(日)▼六時起床。ゆっくり風呂。七時朝食。卵かけごはんがうまい。八時半、バスにて亀老山展望公園に登り、来島海峡の全容を鳥瞰する。昼、松山に出て子規堂見学。「五志喜」にて「五色そうめん」の昼食。あと松山城へ登城。一草庵を訪ねて空港にて解散。梅雨最中に全行程快晴の中という嘘のような天候。そうなると、来週の京都行きは天気が心配になる。羽田に着いたあと慶太氏の誘いで大野崇文氏と三人で銀座「維新號」へ。ふかひれ、海鼠などで紹興酒。二十三時帰宅。「月の匣」の方々、特に地元の「護句会」(村上護先生を顕彰する句会名)の辰砂さん他に感謝。

18日(月)▼八時前、地震情報に起床。関西にて震度六弱の地震発生と！ 夕方、茨木の朝妻力さんに電話。十一階にて本棚が五十センチくらいずれたり、食器が割れたり被害があった模様。孫達が片付けてくれたと。「雲の峰」の他の方にも大きな被害はなかった模様。店、環順子さん。「演劇人句会」十人。あと数名で炒飯屋。

19日(火)▼句集、最終校正のあと、六句ほど、季節が逆順、混在していることに気付き、洗い直し。前後入れ替えを多田悦子さんとやり取りする。店、山崎祐子さん(「りいの」)の民俗学の仲間十人の会。事業部、京都吟行会の詰め。地震もあり、その他難問が

9日(土)▼十時、運営委員会。午後、湯島の全国家電会館にて「銀漢本部句会」五十二人。あと「はなの舞」にて親睦会十数名。

10日(日)▼小池修一郎演出のモーツァルトの舞台を見る予定が、チケットが手に入らなかったと、いづみ、展枝、井蛙のメンバーで吟行に変更。十四時、台風襲来の中、白金台駅に集合。明治学院大学(長女の通った大学)へ高輪消防署二本榎出張所へ英一蝶の墓へ元和キリシタン遺跡(キリシタン処刑場)へ大石内蔵助以下十七人切腹の細川家下屋敷跡(ここの椎の大木見事！)へ高松宮邸(このあと天皇陛下が移られる)へ泉岳寺などを巡る。東京も歩けば見所多し。あと三田の魚の店で打上げ。あと田町駅前で久々のカラオケ。光汪さんが合流。

11日(月)▼発行所七月号の校正作業。予約の無い日。小川洋、宗一郎さんなど。閑散。校正終わったあと透水さんと隠岐の話など。

12日(火)▼「火の会」九人。「天為」の小川洋、竹内宗一郎さん(「街」編集長でもある)が特別参加。五日市征和さん久々。村上頼彦・礼奈夫妻、結婚式以来初めて来店。

13日(水)▼発行所「梶の葉句会」の選句。店、「青垣」の池谷秀子さん(神戸)、「句集出版の打ち合わせに上京とて各々食材を持参。国会議員のT先生、たまたま来店してこの会に参加。

14日(木)▼店、「極句会」あと十二人。禪次さんゲスト。宗一郎、洋さんなど「天為」の方。

15日(金)▼発行所の「罵句会」選句。あと店へ七人。入れ替えに三ヶ月に一度の「白熱句会」(檜山哲彦、佐怒賀正美、藤田直子、井上弘美、小山徳夫、木暮陶句郎さん。「にじん」の岩淵喜代子さん(今年の「詩歌文学館賞」受賞)を囲み、太田うさぎ、西村麒麟さん他。二十二時十五分、閉める。今日は酒飲まず。とにかく早く就寝を、と何と、二十四時に床につく。

16日(土)▼四時起床。羽田発。七時二十五分、ANA便にて松山へ。九時、松山空港に「月の匣」水内慶太主宰の出迎えを受ける。第八回年次総会に招かれる。四十数名。一行は、前日から松山。今

あり、協議。

20日(水)▼高校同期「三水会」六人。諏訪の会員。蜂谷敦さん一年振りに来店。大野田さんが俳句の話を。

21日(木)▼店、徳島県から来たという原英さん、俳句をはじめて三年と。「銀漢句会」あと二十人。一斗さんから福岡の鰯、鯖のこんか煮、羽衣さんの卵サラダなど差し入れあり。

22日(金)▼俳人協会理事の今井聖さんより、来年四月の協会での講演会の依頼を受ける。予約の無い金曜日。ゆっくり店に入る。来週用に焼豚の仕込みなど。案の定閑散。水内慶太氏が、「すし屋の弥助」の握りと鯖鮓一棹持って来て下さり、いただきながら話。十時半閉める。

23日(土)▼九時過、品川駅発の新幹線にて京都へ。車中、崎陽軒のシウマイ弁当食べたが、丸太町の「竹邑庵太郎敦盛」にも寄り皿蕎麦。「銀漢京都吟行会」六十一人。蛤御門近くの「ザ・パレスサイドホテル」が会場。十三時から、荒梅雨の中、京都御所を巡る。御所拝観も。十七時、三句出し。十八時から宴会。「雲の峰」の朝妻力、酒井多加子さんをゲストに迎える。あと隣のキッチンルームにて二次会。そこでカップラーメン一つ。焼きそばも少々食べてしまふ。あと私の部屋に七、八人集まり歓談。二十二時半には寝る。

24日(日)▼昨日と打って変わって快晴に。六時半起床し選句。風呂ゆっくり。七時過、朝妻力さんと朝食。八時半から披露。十時過から徒歩にて二条城へ。気温は三十度。さらに堀川の遊歩道に沿って歩き「ホテルビノ京都堀川」にて昼食の弁当。あと、晴明神社から西陣界限。自由時間にして、京都市考古資料館にて一休みと見学。「鶴屋吉信」にて葛切り。十四時、白峯神宮にて五句出して解散。ホテルの荷物を取り、十七時、十人ほどで祇園の「京料理京屋」。鯉づくしの食事会(私ははじめての店)。少し時間があつたので寺町の「たつみ」にも寄り、二十一時前の新幹線にて昏々と眠って東京へ。サッカードの対セネガル戦、日本が一点入れたところで就寝。同人影山風子さん逝去と。合掌。